レッスン：PYR　N0.52

テーマ：現在のパーソナリティー、法則とサイクル

PYR52 KE07 L2/2/21006

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性によって抱かれています。

　以前のレッスンでは現在のパーソナリティーはLifeそれ自体ではないが、Lifeによって活性化されており、そして勿論Lifeは現在のパーソナリティーの内側にあります。それはLifeの影であり、アイコンですが、それに等しいということではありません。真剣な探求者の目的はこのLifeを内側から表現することです。言い換えれば、影は徐々に少しずつ内側にあるLifeを表現するようになります。それはつまり、私たちはLifeに外側から近づいていくのではなく、私たちの内側から近づいていくということです。そしてそれが起きる時、私たちは神を自分の内側から表現します。

　なぜなら、既に説明したように、全ての人の内側、諸宇宙の内側にあるLifeのこの微細なスパークですらそれは神なのです。このLifeそれ自身の微細な部分ですらも。私たちが部分と言う時、それはLifeの一部分であるモナドを意味します。なぜなら、魂のセルフエピグノシスあるいはスピリット・セルフモナドからの微細なスパークですら*神なのです*。なぜなら、最小のものは最大のものと同じであり、勿論その反対も真だからです；Lifeは実際一つです。重要なのはLifeの本質であり、量は問題ではなく、重要なのは質なのです。

　さて、現在のパーソナリティーはそれら全ての能力を与えられており、それは絶えずLifeそれ自身からより多くを表現するようにです。それらの能力、可能性は潜在的可能性のサイクル内における様々な法則です。そしてあなた方はそれらの法則にアプローチするためにシンボルを与えられています。シンボルは実際には2次元ですが、探求者がそれらの法則にアプローチすることができるように3次元のなかにそれに対応するシンボルを作る必要があり、様々なピラミッドがあります。

　物質界の4つのエレメントを意味する四面ピラミッドがあります。なぜなら、実際に創造物である肉体はこれら4つのエレメントから出来ているからです；そして勿論現在のパーソナリティーは最終的には4つのエレメントをマスターできるようになる必要があり、それはつまり肉体をマスターするということです。

　ピラミッドのもう一つのタイプ3面ピラミッドであり、それはLifeの質を、Lifeの本質を意味します。しかし、この3面ピラミッドがLifeからどれほど多くを意味するかは、潜在的可能性のどのサイクルにいるかによります。

　そして5面ピラミッドもあります。このピラミッドは現在のパーソナリティーが5つの真の感覚をマスターするのを助ける法則を意味します。それらの五感をどれだけマスターするかは同じように現在のパーソナリティーがどのサイクルにいるかによります。

　そして勿論、もう一つのタイプは一面ピラミッドであり、それは円錐です。それはそのパーソナリティーがどれだけ自分の意識を広げることができるかを意味します。言い換えれば、Lifeが意識として、（制限ある空間と時間の意味にも関わらず）他の同胞の人間達を抱きしめる能力があるか、ということです。

　そして勿論、レッスンで述べたように、現在のパーソナリティーはそれ以前の全ての転生、経験の結果です。その結果として、現在のパーソナリティーはもっともっと経験を経る必要があります。しかし、私たちが説明したように、現在のパーソナリティーが何を今生において持ち込んできても、それを変えることができるのです。現在のパーソナリティーには全てを変える可能性、能力があるがゆえに、それが可能なのです。

　前に述べましたが、4分の３は現在のパーソナリティーが過去から持ってきたもので、4分の１は変えることができ、前進して行けるのです。そして勿論、4分の１とは非常に多いです。

Page2

　無知の中で進化成長している間、現在のパーソナリティーはいわゆる願望想念と呼ばれるエレメンタルを創造します。その結果として、現在のパーソナリティーは自らが創造したものの結果を経験することになります。一般にそれらの結果はネガティブなものとみなされます。そして何であれネガティブとみなされたもの、それは実際には有益なのです。この物理的波動のなかで生じたものは何であれ罰とみなされるものはなく、または現在のパーソナリティーの利益にならないものなどないのです。なぜなら、何であれ生じることはLifeの判断によるからであり、Lifeの判断によるものは全て有益なものだからです。

　2つの神、善に奉仕する神と暗闇に奉仕する2つの神などありません。唯一の神だけが存在し、何であれ人間に生じることは有益です。しかし、私たちの無知ゆえに、人間は時には自分に生じたことに対して神をジャッジするのです。

　さて、ご存じのように進化成長の過程で、現在のパーソナリティーは様々な潜在的可能性のサイクルを経ていきます。しかし、その間、現在のパーソナリティーはまた蓋然的可能性の様々なサイクルを創造します；私が創造すると言いますが、それは何かそこにあるものをあなたがマスターしなくてはならない、ということではありません。そしてそれらの蓋然的可能性のサイクルは実際に、現在のパーソナリティーの様々な現れのステートの結果なのです。進化成長のプロセスを歩む間、無数の蓋然的可能性のサイクルがあります（潜在的可能性のサイクルを経ている間にも、あるいは現在のパーソナリティーがそれをマスターする助けとなる全ての諸法則を含む一つのサイクルのなかにおいても）。勿論、そのなかに蓋然的可能性のサイクルを含むことのない唯一の潜在的可能性のサイクルとは5番目のサイクルです。他の全てのサイクル内には、無数の蓋然的可能性のサイクルがあるのです。（訳注：蓋然的サイクルとは人間が無知ゆえに自ら生み出したサイクルです。自ら生み出したものを自ら刈り取らねばならないからです）

　さて、肉体は4つのエレメントからできており、それら4つのエレメントはある特定の惑星に属するものです。それらのエレメントの割合は各惑星によって異なります。つまりこの惑星における割合は他の惑星と同じではないということです。

　例えば、私たちが不可視の人間としてこの太陽系の火星において肉体を物質化する場合、自動的にそこにおける肉体のエレメントの割合は地球にいる時のその割合とは異なるということです。レッスンで述べたように、形はまったく同じで、最小から最大まで骨組みは同じで、形は骨組みそれ自体によるのでまったく同じです。

　ですから、諸宇宙の“どこにいる”人類であろうとも、同じ形の骨組み、同じフォームをしています。ただ、肉体はそこについている肉のゆえに少しばかり違って見えるかもしれません。

　さて、内側にあるLifeのスパークの体、あるいは現在のパーソナリティーが自己実現した時に使う体、それは高次ノエティカル体ですが、その体も他の惑星における体とは異なるのでしょうか？永遠のアトムあるいはサイコノエティカル体（それは現在のパーソナリティーですが）も違っているのでしょうか？それらは同じです。肉体だけが異なるのです…それは創造されたものであり、Lifeの現れとして生まれたものではないので異なるのです。

　サイコノエティカル体はWidest of Heaven(最も広大なヘブン） を通じて生まれます。前にも述べましたが、She(彼女、創造界の母）が現れとして現在のパーソナリティーを誕生させるのです。なぜなら、現在のパーソナリティーのなかにはLifeがあるからです…進化成長の間、現在のパーソナリティーがLifeの本質を現すことがなくても、その可能性、能力はあります）。

　体としての現在のパーソナリティーには、現在のパーソナリティーにLifeの本質を完全に表現する能力を与えることのできる体があります。そしてその体は永遠のアトムの中にあります。・

一般に言って、現在のパーソナリティーはどのようなステートにあろうとも同じです；そして現在のパーソナリティーがどのステートにいようとも、サイコノエティカル体は同じです。しかし、肉体は、形、全ての特徴は同じでも、肉にはいくらかの違いがあるでしょう。

　さて、進化成長のプロセスにいる間、現在のパーソナリティーは願望想念のエレメンタルを創造するといいました。そして願望想念としてのそれらのエレメンタルは、二元性のどの部分からより多くの影響を受けるのでしょうか？それらは二元性の低次のセルフからより多くの影響を受けます…二元性のより小さな部分、つまり2つの小さなエゴのなかのより小さなエゴです。通常、それらのエレメンタルは現在のパーソナリティーを支配し、ネガティブな経験をさせるようにします…つまり現象的に痛みをもたらすような体験です。そうです、現象的にです。なぜならLifeには痛みは存在しないからです。

Page3

 同じ状況においても、2人の人が違った反応をすることがありえます；そして一人は痛みを体験し、もう一人はそこで起きていることを楽しむかもしれません。ですから、それは解釈の問題です。現在のパーソナリティーが同じ出来事に対してどのようにアプローチするかです。そうです、痛みは意味であり、それはリアリティーではありません。

　勿論、前に学んだように、目的は想念願望のエレメンタルを創造することです。しかし、いつそれは起きるでしょうか？それは自己実現したときにのみ起きるのでしょうか？今でも時々、現在のパーソナリティーは想念願望のエレメンタルを創造しますが、しかし意識的にではありません；しかしあなた方が**前進**するにつれて、それはより頻繁に起きるようになります。願望想念より想念願望のエレメンタルの方がより頻繁に創造されるようになるのは、3番目のサイクルにおいてです。

　探求者、現在のパーソナリティーが3番目のサイクルをマスターし、4番目のサイクルに入ると、想念願望のエレメンタルだけを創造するようになります。

　そのような現在のパーソナリティーは、いわゆる超意識的意識のセルフエピグノシスを現し始めると、正しい思考を使うことができるようになります。言い換えれば、火の洗礼のプロセスのなかで。

Ｑ：自己実現に到達した現在のパーソナリティーは想念願望のエレメンタルを創造するのですか？

Ｋ：ノー、なぜならその段階ではいかなる想念、考えも表現されません。二元性もなく、想念願望のエレメンタルが創造されることもありません。そのようなステートでエレメンタルを創造するでしょうか？私たちは神の目的のためにエレメンタルを築き、私たちはLifeのブレーシス（＊神の意志）を現し、そして他の同胞の人間達を助けるためにエンジェルとしてのエレメンタルを築きます。二元性の動きの結果として機械的にエレメンタルを創造することはしません。なぜならば、想念、思考とは二元性の結果だからです。

　二極性は忘れなさい、二極性はもはや存在しません。私たちが二極性と言う時、それは善と悪、肯定的と否定的を意味します。

　本質の結果、Lifeの結果としての肯定的・否定的とは何でしょうか？私たちが二極性と言う時、他の中にある二極性についてはどうでしょうか？レッスンのなかで述べましたが、4つの知られているエレメントの他に、3つのエレメントがあります；1つは磁性、もう一つは電気で、それは二極性の結果です。なぜなら二極性なくして電気は生み出すことはできないからです。そしてもう一つのエレメントがあり、それは現れのあらゆる波動におけるエーテルのエネルギーであり、特により低次の波動において。

　さて、問題は磁性と電気を創造する二極性は現在のパーソナリティーの中の二極性（肯定的と否定的）と関係しているかどうかということですが、どう思いますか？そして私たちが二極性あるいは二元性という時、二極性と二元性は同じでしょうか？実際、同じではなく、違いがあります。Lifeの現れへの二極性は必要ありません；しかし現在のパーソナリティーにとって二極性は欠かせません、特に肉体を使用している現在のパーソナリティーにとっては。肉体にとって二極性なしでは身体は生きていることができません；心臓の鼓動は電気の結果です。すべての活動は電気、二極性の結果です。二極性が電気を創造し、思考の動きは二元性の結果であり、この動きの結果としてスパークされるのです。つまり二元性の結果です。

　さて、述べたように、現在のパーソナリティーが自己実現に到達すると、もし現在のパーソナリティーが高次ノエティカル体を使用して自己実現のステートに留まる場合には二元性あるいは二極性は必要ありません。しかし、もし現在のパーソナリティーが転生のサイクルのなかに留まる場合には、完全に再形成されたサイコノエティカル体でも二元性、二極性が必要となります。サイコノエティカル体が完全に再形成されていても。

Q：それは自己実現した人が転生する時にはエレメンタルを創造しないということですか？

K：勿論、その人はエレメンタルを創造しますが、同時にそのような人はエンジェルを創造する能力があります。なぜなら、他のレッスンで述べたように、そのような現在のパーソナリティーが継続的に高次ノエティカル体を使用しなくても、他の惑星またはいわゆる宇宙を訪問するために地球を去る場合、そのような場合にのみ高次ノエティカル体を使用します。そして、それでもその現在のパーソナリティーは自己実現によって与えられた全ての能力を保つのです。なぜなら、その体はその現在のパーソナリティーのなかにあるからです。そして肉体はその形または特質がなんであろうと、サイコノエティカル体は内なる体つまり高次ノエティカル体と完全にマッチします。肉体の特徴は同じではなくなりますが（＊他の惑星にいる時）、しかし完全に再形成された体、つまりサイコノエティカル体は同じです。

Page4

Q：願望想念と想念願望についてですが、2番目のサイクルにおいても潜在意識的に想念願望のエレメンタルが創造される、と言いました。その例を話してくれますか？

K：そうです、それらは潜在意識的に創造されます。それは例を挙げるというものではありません。しかし、例えば、あなたが誰かを心から思いやり、純粋に心から思いやり、非常の高いレベルのエロティズム、アガピを現し、時にはその人のために自分自身を犠牲にすることすら考えるとします。まさにその瞬間、あなたは想念願望のエレメンタルを創造します。それは純粋な例であり、それは自動的に生じます。なぜなら2つの小さなエゴの中のより大きいエゴは、より小さなエゴからも、あるいは外側からも、あるいは潜在意識内に貯蔵されているいかなるエレメンタルからも影響を受けないからです。

Q：自分自身を犠牲にすることを思う時、自分を犠牲にしようと思うほど相手のことを思いやる時、自分自身に対する愛に何が起きるのですか？なぜなら、キリストは“自分を愛するが如く隣人をも愛しなさい”と言いました。ですから誰かのために自分自身を犠牲にするのは必ずしも良いことではありません。なぜなら、その場合、自分自身に対して良いことではないからです。

K：その点についてはその通りです。しかし、それはその瞬間に自分自身を思いやることをしない、という問題ではありません。どれだけの愛、アガピを他の人に現すかということです。あなたが創造するエレメンタルが願望想念または想念願望であれ、その時あなたはその相手だけを思いやっているからです。あるいはこのように言いましょう、あなたが創造するエレメンタルが誰かによってジャッジされようとも、いいですか、その瞬間におけるエレメンタルは想念願望なのです。なぜなら、その時あなたは自分自身にとって良いと思われることを脇に除けているからです。

　自分のエゴのためにしていることではないからです。自分以外の誰かのために自分自身さえも犠牲にする用意があるのです。もしあなたがそれを行えば、それは別問題です。

Q：もしそれを行うか否か、なぜそれは別問題なのですか？

K：説明しましょう、この例は前にも述べたことがあると思います；この部屋にいる誰かが爆弾を持ち込んでいて、その人物以外の全ての人が死んでしまうよう爆弾を爆発させようとしていることをあなたが確信をもって知っているとしたら、その時あなたはどうしますか？あなたはその人を殺すことができるとしたら、あなたは殺しますか？勿論あなたはそうします、しかしそうすることによって、あなたは社会によって、この国の法律によって殺人者であるとみなされてしまいます。あなたはその人を殺してその部屋にいる人々を助け、同時に法律による結果を引き受けますか？

Q：しかし、人々を助けるためになぜ法律による結果を蒙らねばならないのですか？

K：なぜなら、あなたはその相手が爆弾を爆発させようとしたことを証明できないからです。ただその相手がそのような意図を抱いていたということしかわからないのです。法律は相手はその爆弾を保持していただけで、誰かを殺そうとはしなかったと言うかもしれません。その結果、あなたは裁かれ、社会の法律によって裁かれます；原因・結果の法律に関してはどうでしょうか？どう思いますか？

Q：他の人々の生命を救うために相手を殺したのですから、原因・結果の法則はその人の動機を考慮すると思います。

K：そうです。そのパーソナリティーがどのようなエレメンタルを創造したのかを考慮する必要があります。それは人々を守り、人々の生命を救う、そして同時に相手が原因結果の法則に関してさらなる負債を生み出すことを防いだことにもなります。そのような行為においては確かにそこに想念願望のエレメンタルが創造されます。唯一の疑いは、その相手が本当に犯罪を犯そうとしていたかどうかということです。しかし、自己実現したパーソナリティーは他人に同調する能力がありますから、相手の真の意図を知っていたわけです；その人は単なる疑いに基づいて行動したのではなく、人々を殺すというエレメンタルの創造を見ることができたのです。ですから、原因結果の法則による結果はそれに基づくことでしょう。

Q：例えば、ある国がある理由から他の国に戦争をしかけて多くの人々が殺されたとします。兵士達にはそれを拒否する選択の余地などありません。

Page5

K：しかし、彼等には軍隊に入隊するか否かの選択があります。私たちにとってそれらは、戦争という悪、及び自分達の利益のために行動する世界中のリーダー達の偽善に関して、自分の気づきを強めるためのレッスンなのです。

　何であれ私たちがネガティブであるとみなして痛みを創造するもの、しかし最終的に見ればそれには（＊そこからレッスンを学ぶという）利益があるのですが、私たちにはそれがわからないのです。しかし勿論、私たちはそれを奨励すべきではないし、それで良いのだ、そうなるべきだなどと言うべきではありません。私たちはそのようなことを批判し、それは間違っていると発言して人々を説得すべきです。そして将来に向けてそのようなことを避けるようにすべきです。

Q：しかし、戦争を始める人々は、それによる重荷を生み出し、原因結果の法則からそれ相応の結果を得るのですか？

K：そうです。彼等は多くの治療を受けねばならないようなステートに入ることになります…いわゆる煉獄に入って助け、つまり心の治療を受けるのです。それらの“場所”の一つが月です。月は多くの痛みを人々にもたらした人達が集められる場所です。そのような人々の波動レベルは非常に低く、彼等のエレメンタルは悪魔的なエレメンタルであるとみなされます。それゆえに月を訪れた多くの宇宙飛行士達は地球に戻って来た後で常に悪夢を見るのです。特に肉体とサイコノエティカル体との間のつながりが緩い人はそのような影響を受けやすくなります。しかし、全員がそのような結果になるということではありません。

Q：肉体とサイコノエティカル体との間のつながりを強くするための最善の方法は何ですか？

K：それはケースバイケースで、一般化できません。個人によって異なるので、全ての人にあてはまるというものではありません。

Q：例えば、テンカンの場合はどうですか？

K：いいですか、肉体とサイコノエティカル体との間とのつながりが弱いと言う時、それはそのパーソナリティーがアンバランスであるということではありません。それははっきり述べておきます。アンバランスなパーソナリティーとは、肉体とサイコノエティカル体との間のつながりが弱いというのとは違います。そのような場合、どのように助けるかは人によって異なります。

Q：その動機のなかに深く入る必要があるのですか？

K：何がそのような意図と動機を生み出したのかを分析する必要があります。彼等の行為を単に調べるだけではなく、そのような極端な行動に走らせた動機を調べるのです。

いろいろな形の暴力があります；それについて考えてください。あなたの言うように重要なのは動機です。なぜなら、暴力をふるう人は全て、その人の見地からすればそれなりの理由があって暴力をふるったのです。もし暴力行為をした人に質問してみれば、正当な理由があったと言うでしょう。しかし暴力は次々と暴力の連鎖を生み出します。それゆえ、例えば“カミカゼ”のような人々を生み出したのは単に宗教だけによるものではないのです。

Q：私たちは死という現象と一緒に苦しみを持って行くことはしない、自分にとって楽しいことだけを持って行く、と言いました。それは死んだ後には痛み、苦しみはないという意味ですか？それは煉獄に行く人も苦しまないのですか、彼等はただそこで（＊精神的）治療を受けるだけですか？

K：そこでは、生きていた時に彼等を喜ばせた邪悪な行為にフォーカスさせないようにします。例えば、殺人鬼は人々を殺すことに快楽を感じます。そこでは彼等がサイコノエティカル界にいる間、そのようなことをしないようにさせるのです。わかりますか？彼等が（＊死んで）サイコノエティカル界にいるとき、生きている時にしていたことをサイコノエティカル体に来てもしようとするのですが、それに注意を向けさせないようにするのです。彼等が新しく転生して来た時に過去生からの傾向を持ち込んで来るかどうか；答えはイエスで過去からの傾向を持ってきますが、しかし前ほど強くはないのです。なぜなら不可視のヘルパーが働いていたからです；それゆえ彼等が転生した時には現れのレベルが異なり、前とは異なった波動を帯びてきます…それは彼等が受けた治療によってそのように変化するのです。

PYR/52 KE07 L2/2/21006